

## ● 病院概要

- 開設者名 大塚 義治
- 病院長名 川嶋 禎之
- 標榜診療科目

内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、神経内科、脳神経外科、皮膚科、循環器内科、産科、婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、リハビリテーション科、呼吸器外科、リウマチ科、放射線科、心臓血管外科、小児外科、麻酔科、精神科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科、救急科

●使用許可病床数	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	582床	500.8人
感染症	10床	0人

- 一日平均外来患者数 1,585.2人
- 年間手術件数 15,818件
- 病院併設施設 院内保育所
- 学会指定施設の状況
- 医師数 常勤 157人 非常勤 1.2人
- 年間出産件数 614件
- 救急告示病院の指定 有

浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会認定施設、下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会実施施設、呼吸器外科専門医合同委員会修練基幹施設、日本ステントグラフト実施基準管理委員会(関連11学会)ステントグラフト実施施設、日本IVR学会専門医修練施設、日本アレルギー学会準教育施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療後期研修プログラム、日本リウマチ学会教育施設、日本医学放射線学会総合修練機関、日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設、日本外科学会専門医制度修練施設、日本顎関節学会顎関節症専門医研修施設、日本感染症学会日本感染症研修施設、日本肝臓学会認定施設、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医制度高度技能専門医修練施設(B)、日本眼科学会専門医研修施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本胸部外科学会、日本心臓血管外科学会、日本血管外科学会三学会構成 心臓血管外科専門医認定機構基幹施設、日本形成外科学会教育関連施設、日本血液学会血液研修施設、日本呼吸器外科学会認定修練施設(基幹)、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本口腔外科学会認定研修施設、日本口腔腫瘍学会口腔がん専門医制度指定研修施設、日本高血圧学会認定施設、日本産科婦人科学会専攻医指導施設(総合型)、日本産科婦人科学会専門研修連携施設、日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本手外科学会研修施設、日本周産期・新生児医学会新生児認定施設(基幹)、日本周産期・新生児医学会母体・胎児認定施設(基幹)、日本循環器学会研修施設、日本小児科学会小児科専門医制度研修施設、日本小児外科学会専門医育成認定施設、日本小児循環器学会小児循環器専門医修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器病学会認定施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本神経学会専門医制度教育認定施設、日本腎臓学会研修施設、日本整形外科学会研修施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設、日本静脈経腸栄養学会実地修練認定教育施設、日本脊椎脊髄病学会専門医基幹研修施設、日本大腸肛門病学会認定施設、日本糖尿病学会教育関連施設、日本透析医学会専門医制度認定施設、日本内科学会教育病院、日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設、日本乳癌学会認定施設、日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診施設、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント・エキスパンダー実施施設、日本脳神経外科学会連携施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本病理学会研修認定施設B、日本婦人科腫瘍学会指定修練施設、日本放射線腫瘍学会認定協力施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本輸血細胞治療学会I&A認証施設、日本臨床細胞学会教育研修施設、日本臨床細胞学会施設認定、日本臨床腫瘍学会認定研修施設



所在地 〒940-2085 新潟県長岡市千秋2-297-1

TEL 0258-28-3600 (代) FAX 0258-28-9000

HPアドレス http://www.nagaoka.jrc.or.jp/

## ◆ Access



- JR信越本線・上越新幹線 長岡駅  
長岡駅大手口から中央循環バス20分程度「日赤病院前」下車

照会先  
所属 教育研修推進室(人事課)  
TEL 0258-28-3600 FAX 0258-28-9000  
E-mail kensyu@nagaoka.jrc.or.jp

病院見学の受入 随時  
申込方法  
ホームページよりダウンロードした申込書により担当事務(教育研修推進室)に申し込む。

## 研修概要

研修プログラムの目的と特徴(2022年度研修医)

## ●目的

医療全般についての基本的知識と技術を得得するとともに、患者並びに患者家族、医療スタッフ等、医療における人間関係についての理解を深める努力を行う。また、赤十字理念を具現化し得る医師の養成を行う。

## ●特徴

27科の診療科をもち、初期診療で習得した知識を基に救命救急センター、総合周産期母子医療センター、化学療法病棟などでの研修が可能である。

## ●研修プログラム

年次	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次		内科a,b,c,d,e (6週×3, 4週×2)						神経(4週)	救急/麻酔/整形(6週)	病理(2週)	外科(4週)	小児科(4週)	産婦人科(4週)
2年次		産婦人科(4週)	救急(4週)	地域医療(4週)	精神(4週)	自由選択(36週)							

1年目  
内科a: 消化器(6週間) 内科b: 呼吸器(6週間)  
内科c: 循環器・内分泌・代謝(6週間) 内科d: 血液(4週間)  
内科e: 腎臓・膠原病(4週間)  
神経: 神経内科または脳外科  
病理: C P Cの発表を経験(2週間)  
救急/麻酔・整形: 当番日は救急外来に、非当番日は麻酔科と整形外科を研修する(各2週間)。  
外科・小児科・産婦人科:(4週間)

2年目  
救急: 4週間  
地域医療: 研修協力病院、研修協力施設  
精神科: 医療法人崇徳会田宮病院、新潟県立精神医療センター、新潟大学医学部総合病院精神科等の施設を選択し、最低4週間の研修を行う。  
自由選択科: 長岡中央総合病院、立川総合病院、新潟大学医学部総合病院等での研修も可能(3ヶ月未満)

上記の研修に加えて、救急外来当番・日直研修を2年間で20~30回程度(4週間分)行う。  
上記表は研修の期間を表示したものであり、実際に研修する科の順番は異なることがある。  
また、2年間で4週間(20日間)の一般外来研修を行う(内科、小児科、外科、地域医療等の研修中に実施予定)  
研修開始の4月に各科共通コースとして一週間、カルテ記載や保険診療・臨床検査法等についてのオリエンテーションを行う。

- 協力病院 厚生連長岡中央総合病院、立川総合病院、田宮病院、長岡西病院、新潟大学医学部総合病院、魚沼基幹病院、新潟県立精神医療センター
- 協力施設 江部医院、高木内科クリニック、草間医院、三上医院、市立小出病院、県立松代病院、飯山赤十字病院、長尾医院、ほんだファミリークリニック、新潟県赤十字血液センター

- ⑤1年次後半以降、希望者は上級当直医指導のもと、内科系・外科系の当直業務を行います。
- 2年目の当直について  
上級当直医指導のもと、内科系・外科系もしくは救急部の当直業務を行います。

- 研修医の学習環境  
居室 医局から独立した研修医室があり、院内LAN等の接続も可能な個人机を用意している。  
図書・文献 図書室は24時間利用可能であり、国内図書:約4,000冊、国外図書:約1,300冊、国内雑誌:約100種類、国外雑誌:約40種類程度ある。MEDLINEやUpToDate等の使用も可能である。  
インターネット環境 研修医室各自の机からインターネット接続可能(パソコンは個人で用意)

- 研修の宿舎の有無など  
宿舎 希望者は職員寮(単身用:1Kもしくは1DK)に入居可能  
病院まで徒歩約15分  
間取りは、1K(職員寮の場合、月額18,000円+駐車場5,000円の自己負担のみ)  
常時、宿舎見学可能  
食事 院内にはコンビニエンスストア(22:00まで営業)、職員食堂(平日のみ)がある。  
近隣にはショッピングモール等あり。



## 医学生の皆様へ

## 長岡日赤には期待をはるかに超える研修が待っています！！

中越地区の基幹病院として、高度の専門的医療を行うとともに、common diseaseの初期診療も広く担っており、初期研修病院として理想的な病院です。これまで5年間で53名の研修医(全てフルマッチ)を受け入れ、研修修了者からも意見を参考にしながら進化するプログラムを作ってきました。ひとりひとりが自分にあった研修をしていけると信じています。

- 豊富な症例がある
- 県下最多の専門科
- 福利厚生も充実したきめ細かな待遇
- 中越地区唯一の救命救急センターでの研修
- 後期研修への道 … etc

## 研修医からのメッセージ

私は、将来的にどの科を選ぶにせよ初期研修でしっかりとプライマリケアを学びたいと考えていたため、全ての科が揃い、専門医の資格を有した先生方が数多く在籍され、県内2番目の病床数を持つ当院を志望しました。それが特に反映されるのが救急の場です。現場では主体的に動き、かつ当直には常に上級医がつくためその判断の可否を即座にフィードバックしていただけます。必要時には院内で専門科に即時コンサルト可能なため、見落としなく自己流ではない正しい救急対応を、全ての科において学ぶ環境が整っています。初期研修の間に「その科は研修しなかった～」何て言わずに済む、どこに行っても通用する臨床の基礎作りをしたい方にはお勧めですよ。

(新潟大卒 2年目研修医 T.K (小児科志望))



詳しくは、臨床研修のご案内をご覧ください！